

1. 社会・治安情勢

- (1) ブラジル政府は9月12日、ブラジル入国に際し、「有効なワクチン接種証明書」の提示のほかに、搭乗日の前日以降に実施された「抗原検査また RT-PCR 検査陰性証明書」の提示でも入国を認める旨発表し、水際対策がさらに緩和された。
- (2) 9月初旬、2019年以來、3年ぶりに大規模音楽イベント「Rock in Rio」がバハ・ダ・チジュカ地区において7日間にわたって開催され、期間中に31ヶ国から1万人以上の外国人観光客がリオを訪問したと言われている。チケット販売数は70万枚とも言われ、多くの観客で賑わった。同イベントによる大きな混乱こそなかったものの、同地区の9月の窃盗発生総数は、通常月の3倍以上となる約2,000件を記録した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2022年度第2四半期（7～9月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は、773件で、前期（2022年度第1四半期）と比べて約10%増加した。
- (2) また、リオ州内における強盗事件発生総数は、27,580件（前期比+6%）と増加し、2021年度第3四半期（10～12月）から増加傾向が継続している。手口別では、特に屋外での強盗（車両強盗、通行人強盗、携帯電話強盗）件数の増加が認められた。
- (3) 特に、携帯電話を狙った強盗事件の発生件数は、過去5年で最も高い水準で推移しており、今期の発生件数は4,402件（前期比+約14%）、前年度同期（2021年度第2四半期：7～9月）と比べると約23%増加で、日常生活における警戒が必要である。

3. リオ州犯罪発生状況（2021-2022 年度）

| | 2021 年度 | | 2022 年度 | |
|--------------|-----------|---------|---------|---------|
| | 第 3 四半期 | 第 4 四半期 | 第 1 四半期 | 第 2 四半期 |
| | (10～12 月) | (1～3 月) | (4～6 月) | (7～9 月) |
| 殺人 | 736 | 760 | 702 | 773 |
| 強姦性交等 | 1,316 | 1,381 | 1,356 | 1,482 |
| 商業施設強盗 | 666 | 651 | 617 | 610 |
| 住居侵入強盗 | 261 | 182 | 197 | 214 |
| 車両強盗 | 5,218 | 5,776 | 5,922 | 6,269 |
| 通行人強盗 | 8,969 | 9,345 | 9,674 | 9,947 |
| 交通機関内強盗 | 1,799 | 1,620 | 1,808 | 1,767 |
| 携帯電話強盗 | 3,340 | 3,534 | 3,867 | 4,402 |
| 強盗総数 | 24,543 | 25,191 | 26,029 | 27,580 |
| 窃盗総数 | 31,094 | 37,643 | 40,062 | 42,049 |
| 取扱件数 | 157,726 | 182,058 | 187,945 | 199,685 |
| ※警察介入の際の致死事件 | 257 | 318 | 303 | 361 |

4. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

（1）銃撃戦（リオ市レブロン地区）

7月10日未明、在留邦人も多く利用するレブロン地区のショッピングモール「ショッピング・レブロン」北東角付近において、強盗事件を発端とした銃撃戦が発生。防犯カメラの映像から、自動小銃も使用されていたことが判明。

（2）連続路上強盗（リオ市フラメンゴ、ラランジェイラス、グロリア地区）

7月17日以降、早朝・深夜の時間帯に、オレンジ色オートバイに乗った犯人による強盗事件が連続発生。ハンドバッグ、財布、携帯電話等の貴重品が狙われた。

（3）強姦未遂事件（リオ市フラメンゴ地区）

8月13日午後8時ころ、犬の散歩をしていた女性が、犯人に路地に引きずり込まれ、強姦されそうになった。女性の悲鳴に気づいた付近の民間警備員が駆けつけたため、犯人は逃走したが、その後付近を検索中の警察官により逮捕された。

（4）路上強盗（リオ市内バス停）

9月17日午後10時30分ころ、リオ市内のバス停で夜行バスを待っていた邦人が、けん銃を所持した犯人に携帯電話を奪われた。同バス停には待合室が設けられていなかったため、被害者が一人、屋外でバスを待っていた際に被害に遭った。

(5) 路上強盗（リオ市コパカバーナ地区）

9月21日午前5時30分ころ、外国人観光客の女性2名が、日の出を見るためコパカバーナ海岸に座っていたところ、2人の未成年者から金銭を要求された。被害者らがこれを拒否したところ、犯人らから激しい暴行を受け、携帯電話を奪われ、顔面骨折の怪我を負った。

5. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

6. 誘拐・恐喝事件発生状況

邦人被害は認知していない。